

A 基本の古語を知る

練習 全8問 目安15分

まず、よく使う八つの語の意味を確かめます。

選択問題は記号を○で囲み、意味を答える問題は短く書きましょう。

語句・短文は、本教材の練習用に構成した教材用例です。

問1 作例「いと高き山。」の「いと」の意味を選び、記号を○で囲みなさい。

ア 少し

イ とても

ウ すぐに

エ たぶん

問2 作例「小さき児の笑ふさま、うつくし。」の「うつくし」の意味を選び、記号を○で囲みなさい。

ア 立派だ

イ 恐ろしい

ウ かわいらしい

エ 悲しい

問3 作例「かかる見事なる石は、ありがたし。」の「ありがたし」の意味を選び、記号を○で囲みなさい。

ア 珍しい

イ 感謝したい

ウ 重い

エ 役に立つ

問4 作例「眠りたる人、鐘の音におどろく。」の「おどろく」の意味を選び、記号を○で囲みなさい。

ア 踊る

イ 怒る

ウ 静まる

エ 目を覚ます

問5 作例「人々集まり、大声にてののしる。」の「ののしる」の意味を選び、記号を○で囲みなさい。

ア 寝静まる

イ 騒ぐ

ウ 泣きやむ

エ 立ち去る

A 基本の古語を知る 続き

練習 全8問 目安15分

問6 作例「空、やうやう明るくなる。」の「やうやう」の意味を選び、記号を○で囲みなさい。

ア 必ず

イ すでに

ウ だんだん

エ 全く

問7 作例「つとめて、鳥の声を聞く。」の「つとめて」の意味を選び、記号を○で囲みなさい。

ア 早朝

イ 昼過ぎ

ウ 夕方

エ 真夜中

問8 作例「庭の花の色、をかし。」の「をかし」の意味を選び、記号を○で囲みなさい。

ア 腹立たしい

イ 大げさだ

ウ 苦しい

エ 趣がある

B 短文の中で意味を捉える

練習 全8問 目安15分

基本語に加え、関心や納得を表す語を短文で確かめます。

語句・短文は、本教材の練習用に構成した教材用作例です。

問1 作例「光なき夜に、竹の中のみ光る。あやしと思ふ。」の「あやし」の意味を書きなさい。

問2 作例「友と別れ、昔の日々を思ふ。いとあはれなり。」の「あはれなり」の意味として適切なものを選び、記号を○で囲みなさい。

ア 何も感じない

イ しみじみと心に感じられる

ウ ただ滑稽だ

エ 必ず危険だ

問3 作例「いみじくうれし。」の「いみじく」は、うれしさの程度をどう表していますか。

問4 作例「いみじく悲し。」の意味を書きなさい。

問5 作例「幼き児の手、いとうつくし。」の意味を書きなさい。

問6 作例「やうやう日暮る。」の「やうやう」の意味を、現代語で書きなさい。

B 短文の中で意味を捉える 続き

練習 全8問 目安15分

問7 作例「まだ見ぬ都のさま、ゆかし。」の「ゆかし」の意味を選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 思い出して悲しい
- イ 見るのが恐ろしい
- ウ 見たい
- エ すでに見飽きている

問8 作例「高き山と聞きて来ぬ。げに高し。」の「げに」の意味を書きなさい。

C 前後の文を根拠にする

練習 全8問 目安15分

場面を手がかりに語の意味を選び、短文を訳します。

語句・短文は、本教材の練習用に構成した教材用作例です。

問1 作例「夜半まで眠られず。明け方にようやく眠り、鳥の声におどろきて起き出づ。」で、「おどろく」を「目を覚ます」と読む根拠を二つ挙げなさい。

問2 作例「人々、祭りを喜び、大声にてののしる。」を「人々が互いの悪口を言っている」と訳するのが適切でない理由を、場面に触れて説明しなさい。

問3 作例「庭の花、をかし。」「友との別れ、あはれなり。」について、前者の評価と後者の気持ちをそれぞれ説明しなさい。

問4 作例「初めて会ひたる人なれど、なつかし。」の「なつかし」の意味を選び、記号を○で囲みなさい。

ア 昔が思い出される

イ 親しみが持てる

ウ 会うのが恐ろしい

エ 気まずい

問5 作例「夕べには雨降り、あしたには晴れたり。」の「あした」の意味を書きなさい。

C 前後の文を根拠にする 続き

練習 全8問 目安15分

問6 作例「暗き空、やうやう明るくなる。」に最も近い変化を選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 一瞬で真昼になる
- イ 明るさが全く変わらない
- ウ 少しずつ明るくなる
- エ 必ず暗く戻る

問7 作例「祭りの日、人あまた集まる。」を現代語に訳しなさい。

問8 作例「友の文を読み、うれしくおぼゆ。」の「おぼゆ」の意味を選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 暗記する
- イ 似ている
- ウ 忘れる
- エ 感じられる

D 確認テスト

確認テスト 全8問 目安20分 100点

新しく覚えた語も含め、意味・文脈・短い訳を確かめます。

語句・短文は、本教材の練習用に構成した教材用作例です。

問1〔10点〕 作例「いと高き木。」の「いと」の意味を書きなさい。

問2〔10点〕 作例「母は幼き子を抱き、かなしと思ふ。」の「かなし」の意味を書きなさい。

問3〔10点〕 作例「桜の花はさらなり。若葉もをかし。」の「さらなり」の意味を書きなさい。

問4〔10点〕 作例「としごろ学びたる歌を、友に教ふ。」の「としごろ」の意味を書きなさい。

問5〔15点〕 作例「眠りたる人、鐘の音におどろきて起き出づ。」の「おどろく」の意味と、その意味にした根拠を一つ書きなさい。

D 確認テスト 続き

確認テスト 全8問 目安20分 100点

問6〔15点〕 作例「都はげにゆかし。」を、「げに」と「ゆかし」の意味が分かるように現代語に訳しなさい。

問7〔15点〕 作例「この人、なつかしくおぼゆ。」を現代語に訳しなさい。

問8〔15点〕 作例「友と別れ、昔の日々を思ふ。あはれなり。」の「あはれなり」に表れた気持ちを、場面に即して説明しなさい。

得点 /100点 解き直した日 月 日